

人気温泉地「鬼怒川温泉」

◆有名温泉地めぐり◆



鬼怒川温泉（きぬがわ）栃木県日光市の鬼怒川上流域にある温泉。箱根や熱海と並んで「東京の奥座敷」と呼ばれ、年間200万人以上の宿泊客で賑わう。

東西南北

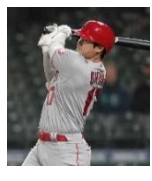
大谷翔平はスゴイ：

7日、メジャーリーグにおいて松井秀喜の日本選手最多記録を塗り替える32号本塁打を放ったエンズルスの大谷翔平は、「松井さんは子ども頃から見ていたので光栄です。まだまだ打てるように頑張りたい。」とさらに本塁打を積み重ねることに意欲を燃やした。

記念すべき一打にも大谷の技術が詰まっていた。3球目と5球目に内角に食い込んでくる変化球をファウルして

粘った。2球とも自打球を足に当て、苦痛の表情、しかし、7球目の同じように来た球は捉えた。「結果的に打っているのだから自打球の影響はなかったかな。敵しいところになっていたので差し込まれたら自打球になると思います。」とさらりと振りかえった。大谷はこの一発で、ア・リーグ2位のゲレーロ（ブルージェイズ）に4本差をつけた。両リーグでも30本塁打に到達した打者は大谷だけだ。

日本選手にとって、大リーグでの年間30本塁打は高い壁だった。2001年にイチローが日本

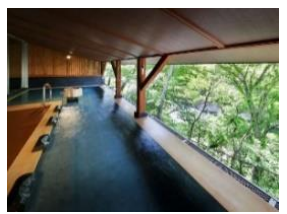


K・ドラゴン

歴史
古くは滝温泉という名前前で、1691年に沼尾重兵衛が鬼怒川右岸で源泉を発見したとされる。1751年から日光奉行的の支配となったことから、日光詣りの諸大名や僧侶達のみが利用可能な温泉であった。明治時代になって滝温泉が一般に開放され、明治2年には東岸にも藤原温泉が発見された。その後、上流に水力発電所ができて鬼怒川の水位が下がるとともに、川底から新源泉が次々と発見され、1927年（昭和2年）に、滝温泉と藤原温泉を合わせて鬼怒川温泉と呼ぶようになり、その名称は今日までいたっている。

この頃から旅館・ホテルが開業を始め、1929年の下野電気鉄道（現・東武鬼怒川線）の開通もきっかけとなり、次第に温泉として発展していった。戦後は特急「きぬ」の運行などもあり、東京から観光客が押し寄せて日本有数の大型温泉地としての発展を見せた。

2015年（平成27年）9月9日、関東地方に記録的な集中豪雨。鬼怒川が氾濫して河畔に建つ鬼怒川プラザホテルの露天風呂などが崩壊した。



火傷は滝（現在の鬼怒川温泉）と称された。温泉街
約40軒のホテル旅館の他、リゾートマンションや企業の保養所などが連なり、市営の公共浴場や足湯の他、民間の入浴施設も多数ある。鬼怒川温泉駅周辺には、コンビニエンスストア、みやげ物店、レストラン、売店、カフェ、料理店、そば店、中華料理店、足湯、旅館観光案内所、ツーリストセンター、レンタカー、全天候型プール&スパ、銀行、郵便局などが並び、外国人の観光客も多い。

談話室

この原稿は東京オリピックが開催される数日前のもので、五輪の為に始まる交通規制について考えてみます。

まず初めに、東京と近郊県で大規模な交通規制がスタートした。

首都高速道路では日中を中心に料金を高く設定して通行量を抑える「ロードプライシング」もスタートが。ただ既に交通規制の影響で一部の道路では渋滞もみられた。専用レーンは原則、大会関係車両しか通行できない。優先レーンを走行中の一般車は大会関係車両に道を譲ることが求められる。これに違反した場合、普通車で違反点数1点、反則金は6千円になる。ロードプライシングの対象は首都高までの午前6時〜午後



10時、軽自動車と二輪車、普通車の料金に千円が上乗せされる。一方午前0時〜4時は全車両（現金払い除く）が半額になる。交通情報センターによると前日午前には東京（外環道）の内回り戸田東インターチェンジ付近で一時16キロの渋滞が発生。都内の一般道も混雑し、国道246号下りは夕方、8キロにわたって渋滞した。

首都圏の主要駅などはテロ対策で警備態勢が強化され、危険物探知犬の活動も始まった。ヨッチャン

◆編集委員会より「あおい通信」は皆様からの原稿を募集しています。係員・飯島

老朽原発は廃炉に
増田義雄

六月に関西電力の老朽原発美浜三号機が初めて再稼働する事になった。十年前の福島原発の事故の後には原発の廃炉を促進するために「四十年ルール」が法を改正して作られた。四十年以上稼働した老朽原発の安全性を厳しく再確認して一回だけ例外的に二十年を限度に再稼働の延長を認める内容である。今回の運転延長は「極めて例外的ではない」ことを忘れてはならない。美浜三号機は一九七六年運転開始した老朽原発一号機と二号機の再稼働を狙っている。

原発は二酸化炭素排出や経済性で特に優れたものだが温室効果ガス削減を

理由に脱炭素社会には不可欠だと主張して王手電力八社は揃って老朽原発の再稼働容認の動きに向かつており危険極まりなく誠に遺憾である。核燃料の原発は放射能の危険性が高く、事故リスクが大きく人類が制御出来ない怖い欠点がある。地震や津波等の多発国の日本だけに、より一層の安全性が不可欠である。チェルノブイリや福島原発の事故の悲劇や教訓を決して忘れてはならない。



四月に政府は福島原発の処理水の海洋放出を発表した。千基超すタンクの大量の汚染水放出には三十年もかかるとか、また風評被害も大変心配だ。福島原発の廃炉作業では大量の放射性廃棄物が発生し危険な難作業で建屋の解体等には莫大な費用と長期の時間を要する。むつ市の使用済み核燃料の中間貯蔵施設や北海道の最終核ゴミ処分場等難問が山積している。国を挙げて再生可能エネルギーの研究開発に取り組むべきで、太陽光や風力発電等あらゆる可能性に巨額の資金を投じて脱原発を目ざすべきである。

同級生五人のグループ旅行には、ずいぶん行きました。終戦の翌年の四月に、杉並区にある都立の女学校に入学して以来現在もお友達として、続いているのです。皆、孫やひ孫がいるのですが、旅行先やきつぷ購入、時刻等、全部調べあげ、上野駅、新宿駅、東武鉄道の浅草駅などに集合して旅の始まりとなります。

無題
磯谷弘子

家族でやっている高峰温泉があります。水ノ塔山かごの塔山を登り下山した所にある一軒宿です。夜は若旦那が宿の玄関の所に望遠鏡を置いて星の説明をして下さり、その時に土星に輪が架かっているのを目撃したりに見て、感激しました。翌朝は、ガラス張りになっている食堂で自家製の果実酒をいただき乍ら朝食をとり、小鳥がエサを食べにくるのを目の前で見たり、自然を満喫する旅もしました。

又ある時は尾瀬も鳩待峠から入り、木道歩きもしました。帰りの鳩待峠への上りは、皆ちよときつかった様でした。

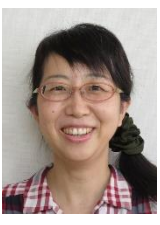
最近十年位前からは皆、足腰も弱ってきているので、新宿高島屋の十三階位にある、おいしいランチの店に集まっておしゃべり会という事になっています。



振り返ってみれば、二十代半ばから、美容室につとめ、美容、花嫁、花婿作り、オールマイティ出来る様になった四十才前頃に、やっと自分の店を持つ事が出来ました。その当時のお友達が沖繩本島で店を構え、先日はマングローを一箱送って下さいました。良い友達に恵まれたと、いつも心の中で思っております。

今年4月より勤務させて頂いております。3年程前から石神井公園駅近くの男女共同参画センターへ入るにて、パソコンを教えるアシスタント業務もしておりますが、デイサービスの勤務は初めてで緊張していましたが、声をかけて頂き、今では勤務の日が楽しみです。また私はピアノを弾く事も好きなので、音楽の話なども皆様と出来たら嬉しいのです。

自画像
P.C、講師 櫻井美穂



現在九十二才になる主人は、土曜日に葵さんのデイサービスにお世話になっております。浅草そだちの江戸っ子と杉並育ち山の手の私、毎日が楽しく過ごせる様、心掛けたいと思っております。

今年4月より勤務させて頂いております。3年程前から石神井公園駅近くの男女共同参画センターへ入るにて、パソコンを教えるアシスタント業務もしておりますが、デイサービスの勤務は初めてで緊張していましたが、声をかけて頂き、今では勤務の日が楽しみです。また私はピアノを弾く事も好きなので、音楽の話なども皆様と出来たら嬉しいのです。

利用者さんの紹介コーナー

大橋 勢津子(白、火)

趣味は書道、歌を歌うこと(合唱をやっています)。マンション住まいになってしまったのですが、園芸です。今はベランダでやっています。



戦国武将
ヒストリー

伊達 政宗

羽達(たて) 政宗は、出羽国と陸奥国の武将・戦国大名。伊達氏の第17代当主。近世大名としては仙台藩の初代藩主である。

幼名は梵天丸。没後は法名から貞山公と尊称された。幼少時に患った痘瘡(天然痘)により右目を失明し、隻眼(せきがん)となったことから後世「独眼竜」の異名がある。

出生から初陣まで

永禄10年8月3日(1567年9月5日)、出羽国米沢城で、伊達氏第16代当主・伊達輝宗(てるむね)の嫡男として、正室である最上義守の娘・義姫(最上義光の妹)から生まれた。天正5年(1577年)11月15日、元服して伊達藤次郎政宗と名付けられる。梵天丸は固辞したが、父の輝宗より強いて命ぜられる。諱の「政宗」は父・輝宗が伊達家中興の祖といわれる室町時代の第9代当主・大膳大夫政宗にあやかっつて名づけた

ものでこの大膳大夫政宗と区別するため藤次郎政宗と呼ぶ事も多い。史料上にも正宗と書かれたものがいくつもあるが、これは誤記や区別のための書き違いである。伊達家の一字拝領を慣習としてきたが、政宗の元服に際しては、当時織田信長によって京より追放されていた足利義昭からの一字拝領を求めなかった。

天正7年(1579年)10月、仙道の戦国大名であった三春城主・田村清顕より婚儀の相談があり、御入奥の日取り、

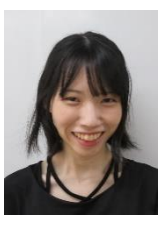


路次警固等合い調う。その冬、政宗が13歳の時、清顕の娘、当時12歳の愛姫(伊達政宗と同じく伊達植宗を曾祖父にもつ)を正室に迎える。伊達郡梁川城で奥の引継ぎが行われ、伊達成実・遠藤基信らに守られて、雪深い板谷峠を避け、小坂峠、七ヶ宿、二井宿峠を経て、米沢城に入奥した。

天正9年(1581年)

5月上旬、隣接する戦国大名・相馬氏との合戦で伊具郡に出陣、初陣を飾る。また、この頃から輝宗の代理として田村氏や蘆名氏との外交を担当しており、蘆名盛隆が対相馬氏戦で援軍を送ったのは政宗の働きかけによるものである。

私は金曜日と土曜日に来て利用者の方にパソコンの操作等を教えています。普段は大学で文学を専攻し、近代文学の研究をしています。趣味は絵を描くことです。利用者の方が「やっつてよかった」と充実した時間が過ごせるように頑張っています。



P.C、講師 久保田詩歩